

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日石川祐希選手の活躍が報道されました。イタリア1部リーグ（セリエA）欧州チャンピオンズリーグ開幕から12戦連勝の力

を見せつけましたがその後の石川選手のコメント「もう一回自分たちのバレーをしっかりとやるべきかな。修正したい」との発言。10得点をあげてもなお、自分自身を見つめ直し修正をする姿勢に頭が下がりました。そして、私達に勇気を与えてくれたと思います。皆さまにとって今年一年が幸せな年になりますようにお祈り申し上げます。

サンライズの物語

花に嵐のたとえもあるぞ、さよならだけが人生だ——

出会いと別れについて考える物語



どんな職場でも出会いと別れを繰り返していると思います。新しい同僚との出会いは楽しいのですが、何度経験しても別れだけは哀しい思いに駆られます。

一緒に仕事を始めた時は力強く、希望に満ちています。時間と共に、少しずつすれ違う気持ち・・・どうしたら同じ思いになるのかを手探りで探しているのですが、折り合わない気持ちが交差してしまうのです。

どんな仕事も自分自身にやりがいを見つけ走りだしますが、そんな思いが薄まっていく自分との闘いになり、決断してしまうのだと思います。

一度繋いだ手は離さないと思っていても一人一人の人生があり価値観が違います。

そんな時にいつも頭をよぎる言葉があります。中国の漢詩の一文を井伏鱒二氏が翻訳していた「花に嵐のたとえもあるぞ、さよならだけが人生だ」

楽しい時はいつまでも続かない・・・との意味だそうです。

どんな環境へと別れても一緒に過ごした同僚には幸せな時間が降り注ぐように願ってやみません。



お誕生日 皆様でお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせて頂きました。

おやつに手作りパンケーキをお出ししました。



NEWS 今月のニュース

唐津市肥前町で園児らがお年寄りにダンス披露 「いつまでも元気でね」

崎村調理師専門学校（小田原市城山）の生徒が授業の一環で市内の老人ホームを訪れ、手作りのクリスマスケーキを振る舞う取り組みを20年以上続けている。毎年お年寄りに好評で、生徒にとっては誰かのために料理を作る貴重な機会になっているという。

「心を込めて作りました。ぜひ食べてください」。1、2年生の生徒15人は19日、同校に併設されている介護付き有料老人ホーム「ジョイアス城山」を訪れ、お年寄り一人一人にケーキを手渡した。

用意したのは、スポンジから全て手作りのイチゴのショートケーキ。お年寄りは「おいしい」「また来年

も楽しみにしています」などと話しながら、笑顔で頬張っていた。同校は同ホームに毎年ケーキを届けており、生徒が訪問するのはコロナ禍を挟み、5年ぶりという。

この取り組みは同ホームが創立された2005年以前にも、毎年行われてきた。同校の教育モットーは「奉仕の精神」で、食べる人のことを考えてケーキを作り、感謝の言葉を伝えられる経験が生徒を成長させる機会になるという。

今年はジョイアス城山を含めて老人ホーム3施設を生徒が訪問する予定だったが、体調不良のお年寄りがいた他の2施設は18、19日にそれぞれ代表の生徒がケーキを届けた。

19日は2施設分で約50ホール分のケーキを用意。「ケーキを作るのは大変だったが、おいしいと言われ

たことがうれしかった」と伊東椰さん（19）＝平塚市。佐藤大輝さん（19）＝南足柄市＝は「すごく喜んでくれた。また心を込めて作りたい」と話していた。（佐野 克之）



お年寄りにケーキを振る舞った生徒たち＝19日、小田原市城山のジョイアス城山

<カナロコ 24/12/22 (日) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>